

salesforce

# Intelligence トラブルシューティング手順

Salesforce

最終更新日: 2023/11/09



# 目次

- **トラブルシューティング**
  - 注意点
  - トラブルシュートの進め方
  - 発生箇所別に想定される原因と対応方法
    - 1.画面表示段階での設定を確認する
    - 2.加工/取り込み後のデータを確認する
    - 3.データ加工前の設定を確認する
  - 参考
    - 発生場所別の確認項目一覧
    - トラブルシュートの例



# トラブルシューティング



# 注意点



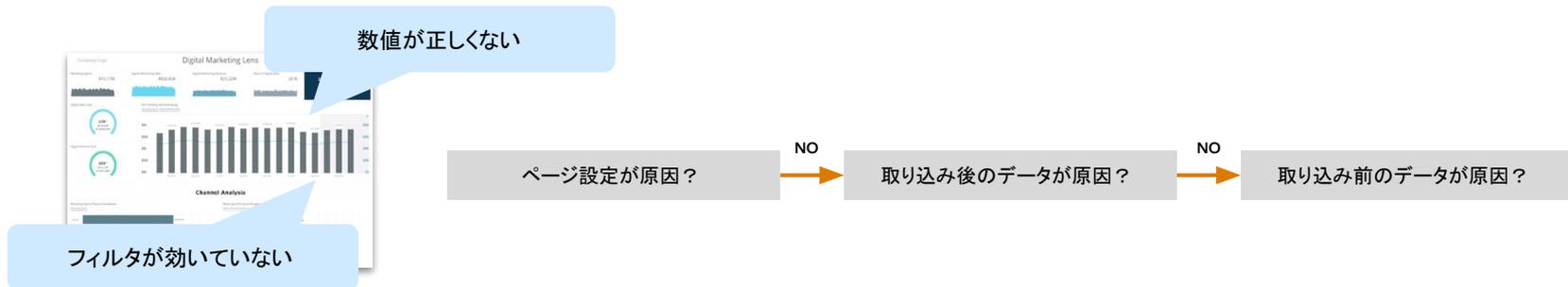
トラブルシューティング過程でページやデータストリーム等の設定変更を行う場合は影響範囲を正しく理解した上で実施してください。

ページやデータストリームには反映した変更を元に戻すためのオプションがないため、以前の状態に戻すことが困難な場合があります。

影響範囲の確認方法や各種設定の仕様、操作実施時の注意点などについて等のご質問はサポート窓口までお問合せください。



# トラブルシューティングの進め方



ダッシュボードページの表示段階では取り込んだデータに対してページ上のフィルタの設定が適用されていることがほとんどです。

ダッシュボードページでデータの乖離があった場合、原則、ダッシュボードページ上での原因調査を開始し、徐々に大元のデータソースまで遡ってトラブルシューティングしていきます。

本資料ではダッシュボードページでデータ乖離がみられたケースを想定し、

**1.画面表示、2.加工/取り込み処理、3.データ加工前**の順番で主なトラブルシューティング方法をご説明します。

# データの取り込み過程とトラブルシューティングの流れ



データ加工前

加工/取り込み処理

画面表示



API

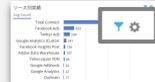
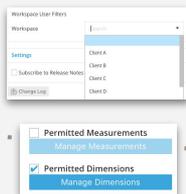


トランスフォーマー

関数処理

取込ルール

取込モード



データソース

加工/  
取り込み設定

データ  
ストリーム  
(DS)

ユーザーレベル  
フィルタ

ページレベル  
フィルタ

ウィジェット  
フィルタ

インタラクティブ  
フィルタ

ダッシュボード  
ページ

生(raw)データ

加工/取り込み処理を経て  
Key単位で集計されたデータをDSで保持

DSのデータをウィジェット等でフィルタを適用して表示する

データ取り込みの流れ

トラブルシューティングの流れ

ダッシュボードページでの数値乖離などが見られた場合は右から左の順で原因箇所を特定していく

# 1.画面表示段階での設定を確認する



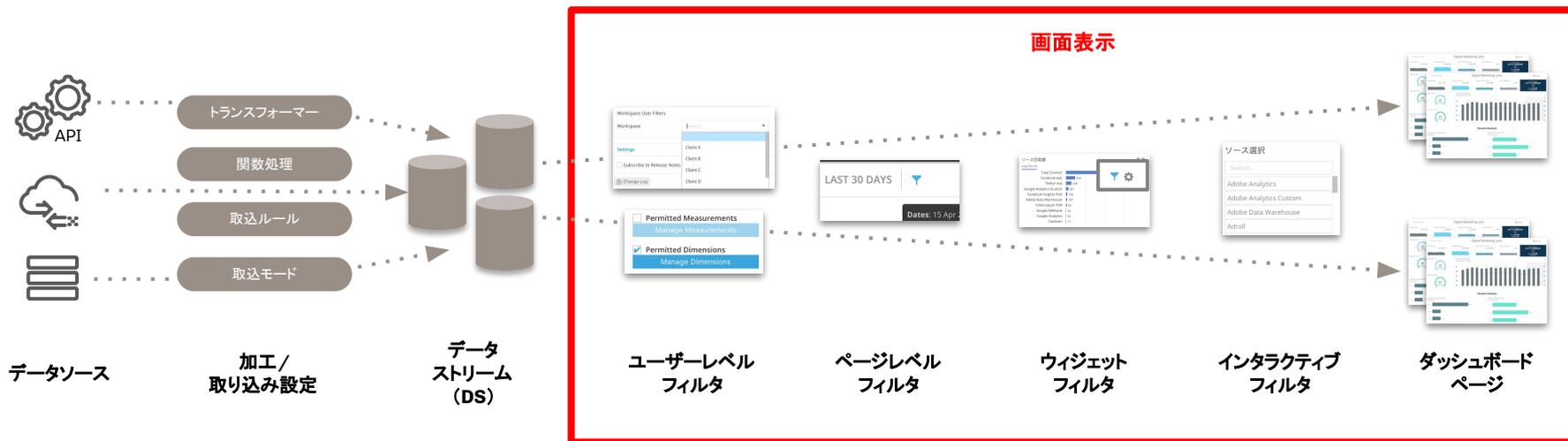
# 画面表示段階での設定を確認する



ページおよびユーザーレベルのフィルタ要素を確認します。

## チェックポイント

- 不要なフィルタが設定されていないか（ページレベル、ウィジェットレベルの期間 / デイメンション / メジャメントフィルタ）
- ユーザーのアクセス権限の確認（例：ユーザーにディメンションフィルタを設定している、コレクションの制限）
- TOP3のみ表示など、ウィジェット固有の設定が影響していないか
- インタラクティブフィルタやカスケーディングフィルタで対象外のウィジェットにもフィルタをかけていないか



# ページフィルタの確認例

ページ右上の鉛筆マークをクリックし、編集モードに切り替えて各種設定を確認します。

※この操作には該当ページの編集権限を持つパワーユーザー以上の権限が必要です。

※トラブルシューティング目的で設定を変更したまま保存しないようにご注意ください。

**ページフィルタ**  
フィルタ条件は正しく設定されているか？

**日付フィルタ**  
日付範囲は正しく設定されているか？

The screenshot shows the Salesforce Datorama dashboard in edit mode. The left sidebar contains a 'ページ編集' (Page Edit) panel with a 'ページフィルタ' (Page Filter) section. The main content area shows a '事業部ダッシュボード' (Business Unit Dashboard) with a pivot table. Red callout boxes highlight specific settings: 'フィルター' (Filter) and '2018年12月1日 - 2019年1月1日' (Date range) in the top right; 'フィルター' (Filter) and 'ウィジェットフィルタ' (Widget Filter) in the pivot table controls; and 'ウィジェットフィルタ' (Widget Filter) in the pivot table's filter settings.

Campaign Name	Impressions
Product ZZZ_M/F-35-50_SP/PC_300*250	100
Product ZZZ_M/F-35-50_PC_300*250	200
Product ZZZ_M/F-35-45_SP_300*250	100
Product ZZZ_M/F-30-55_SP/PC_300*250	100
Product ZZZ_M/F-25-50_PC_320*100	100
Product ZZZ_M-35-55_SP/PC_320*100	100
Product ZZZ_M-35-45_SP/PC_250*250	100
Product ZZZ_M-30-55_SP_250*250	100
<b>合計</b>	<b>315,546</b>

**ウィジェットフィルタ**  
フィルタ条件は正しく設定されているか？  
ウィジェット同士の連動設定は正しいか？

## テーブルウィジェットを用いたトラブルシューティング

集計されたグラフなどをダッシュボードページ上から直接トラブルシューティングを行うとスムーズです。  
ここでは同じデータソースをもとにトラブルシューティングする方法を2通り紹介します。



▲トラブルシューティングしたいグラフの例。

CPAが正しいかを確認するには、CPAの元となっている数値（コストとCV）を分析軸別（媒体や日付）で確認する必要があります。

簡易

### テーブルビュー

ウィジェットで使用されているディメンションとメジャーメントがテーブル形式で表示される

詳細

### ウィジェットの複製

ウィジェットで使用されているディメンションとメジャーメントを以外も表示対象にでき、テーブルビューより詳細な調査が可能



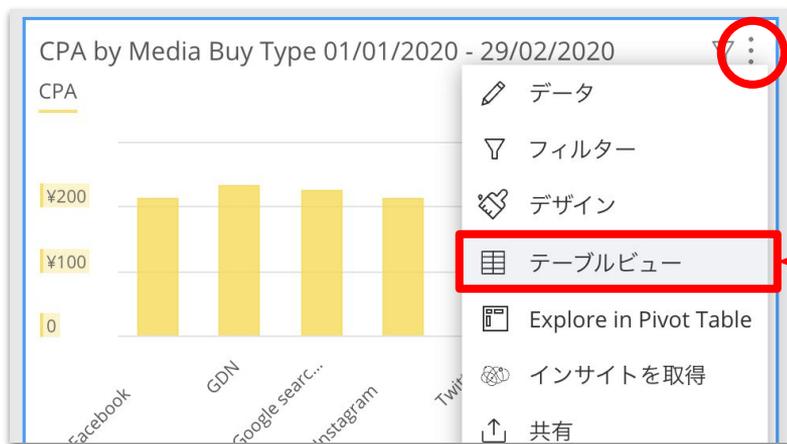
## テーブルビュー方式(簡易調査)



該当データをワンクリックでテーブル形式に切り替えて表示が可能



該当のウィジェットで選択されている項目しか表示できない



Media Buy Type ↑	# CPA
Facebook	¥214
GDN	¥232
Google search	¥227
Instagram	¥213
Twitter	¥217
Yahoo search	¥212
YDN	¥231
合計	¥222

1 - 7 of 7 アイテム

- ① ページの右上から鉛筆ボタンをクリックし、編集モードに切り替える
- ② トラブルシューティングをしたいウィジェットの右上にある縦の3点リーダーをクリック

- ③ 画面上に別ウィンドウでテーブルが表示される  
右上のボタンからファイルのダウンロードも可能



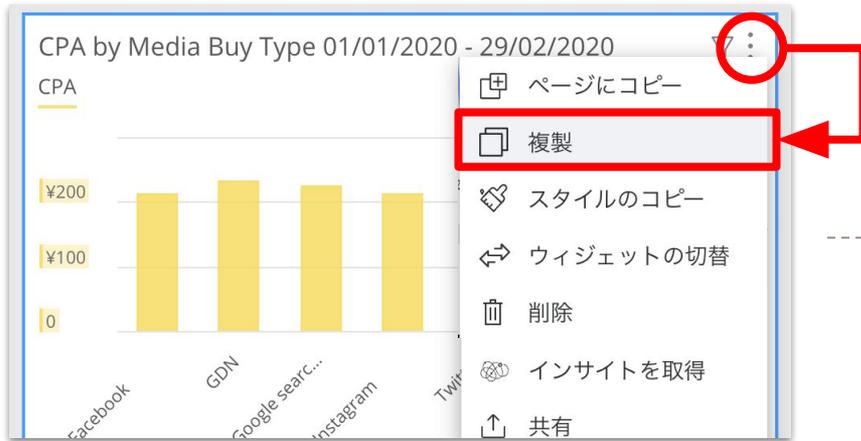
## ウィジェット複製方式(詳細調査)



任意の項目を表示対象に追加することでより詳細なトラブルシューティングが可能



インタラクティブフィルタなどの影響を受けているウィジェットの場合、複製対象にも一時的に同じ条件を設定する必要がある



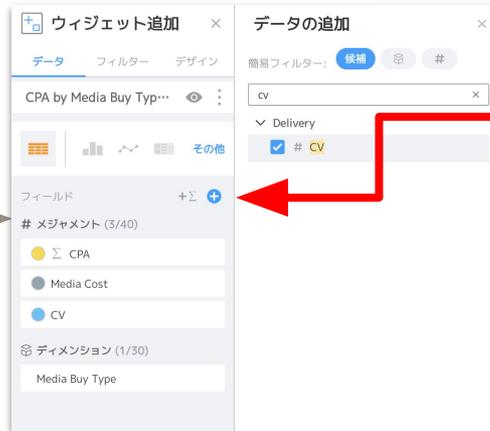
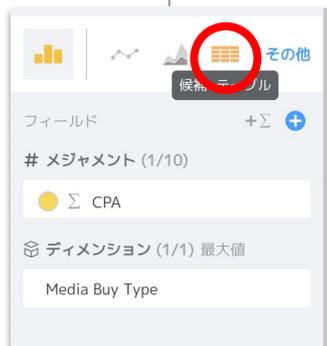
ウィジェットが複製される

- ① ページの右上から鉛筆ボタンをクリックし、編集モードに切り替える
- ② トラブルシューティングをしたいウィジェットの右上にある縦の3点リーダーをクリック
- ③ [複製]をクリック

次ページへ続く



前ページからの続き



⑤必要に応じてフィールドを青の[+]ボタンから追加 / 削除して調査する

カスタムメジャメントなどは[Σ]をクリックして計算式や設定を確認し、計算式に使用されているディメンションやメジャメント項目を表示するとトラブルシュートしやすい

例: CPAのトラブルシュートをする場合

計算式 (CPA = Cost / CV) を構成する Media Cost と CV を表示対象に含める

④複製されたウィジェットの  
ウィジェットタイプをテーブルに変更する



### ◀ FacebookのCPAの計算内訳の確認例

棒グラフではCPAのみの表示だが、  
テーブルでMedia CostとCVを並べることでCPAの計算が正しいか確認できる

## 2.加工/取り込み後のデータを確認する



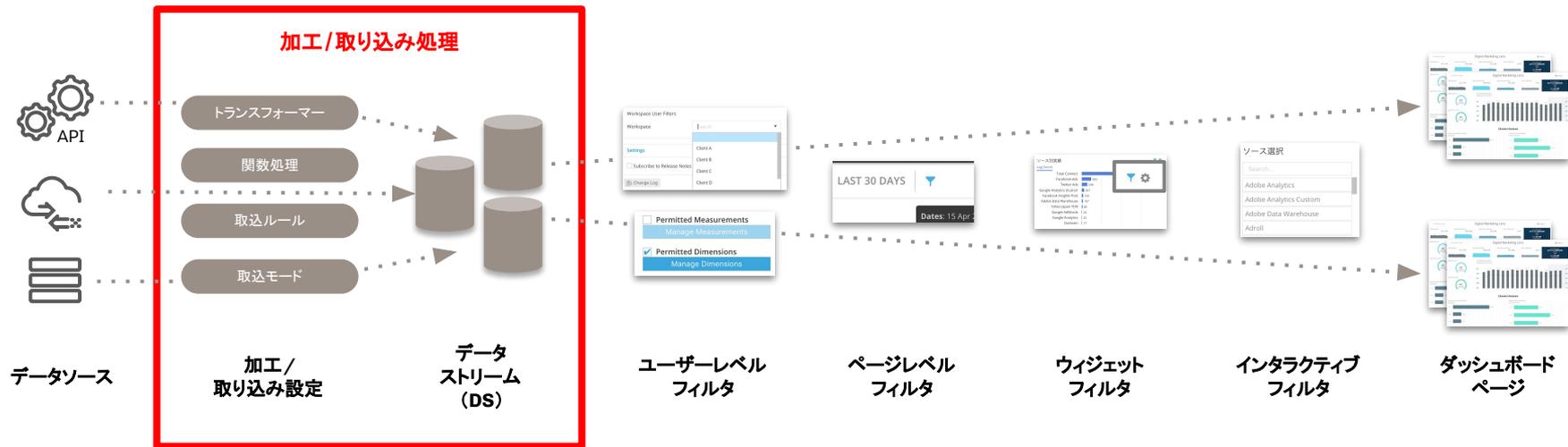
# 加工 / 取り込み後のデータを確認する



画面上でのフィルタ設定などに問題がなかった場合、画面表示に使用しているデータが正しいかを確認します。  
データストリームのデータはマッピング処理(トランスフォーマーや関数処理)を経たものとなるため、この段階でデータに不一致がある場合は適切なマッピング設定がされているかを確認します。

## チェックポイント

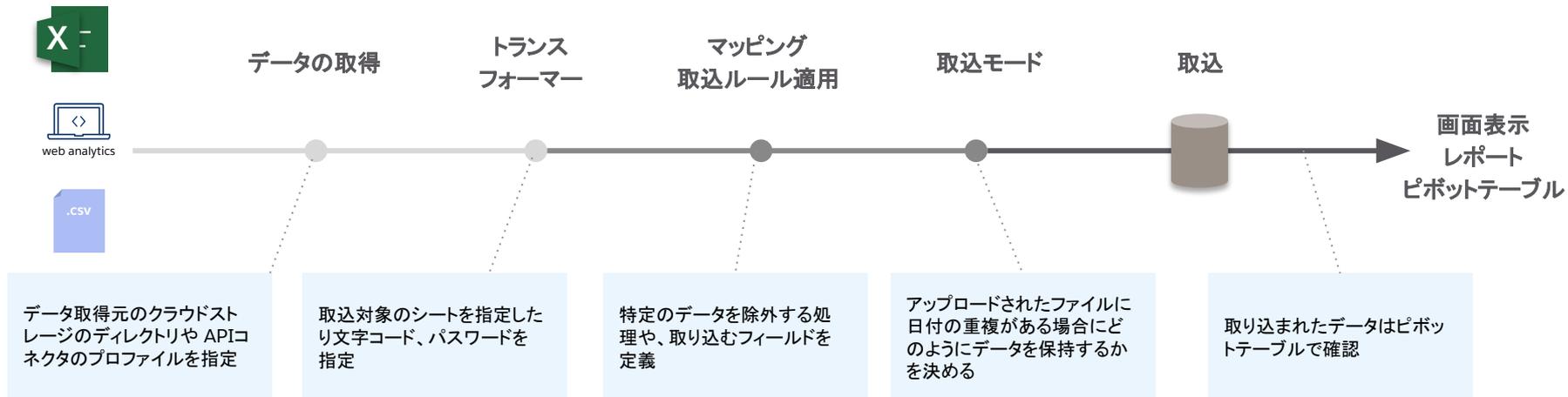
- 取り込みエラーが発生していないか
- 要件通りに取り込み設定しているか(例: 遡り CVは後追いでデータ補完されるため、XX日前まで遡ってデータ取得)
- 加工前データと加工後データの比較(例: マッピングやカスタム・ディメンションで関数を使用する前後の値を比較)



# データが取り込まれるまでの過程



データストリームにデータが取り込まれるまでにはさまざまな処理が適用されるため、データストリーム起因のエラーやデータ乖離の場合はどの箇所で発生しているかの特定が重要です。



# データストリームのエラー検知方法



データストリームにエラーが発生しているかを確認するためには以下の方法があります。

## データストリーム・コントロールセンター\*

データストリームの管理状態を一画面で把握

[参考リンク](#)(コミュニティ記事)

## Workspace Health Monitoringアプリ

データストリーム/レポート/アクション/ワークフローの  
ステータスを確認

## データストリーム一覧画面\*

データストリーム別のステータスを確認

## メール通知\*

アカウント内のすべてのデータストリームを対象に  
処理失敗した場合に通知

[参考リンク](#)(コミュニティ記事)

## DataStreamのエンティティの活用

ダッシュボードページやレポートでの定期配信を設定

Data Streams Control Center

Enabled Data Streams

Active Data Streams (200 / 3600 Total) As of May 22, 2020

Rows Usage

94,608,790 (48%) of 200,000,000 As of May 22, 2020

Added: 601,053 Used: 150,481

Enabled Data Streams Status by Source

Source	Progress	Percentage
Tiktok Ads (160 / 200)	15.0%	15.0%
LinkedIn Ads (160 / 200)	15.0%	15.0%
Instagram Ads (160 / 200)	15.0%	15.0%
Twitter Ads (160 / 200)	15.0%	15.0%
Facebook Ads (160 / 200)	15.0%	15.0%
Google Ads (160 / 200)	15.0%	15.0%
YouTube Ads (160 / 200)	15.0%	15.0%

Failed data streams by day

Usage Forecast

Rows Usage Forecasted Usage

※Adminのみ使用可能

# データストリームのエラー原因と対応方法の例



データストリームには大きく分けて 2つの種類があり、エラー要因も異なります。

接続方法	エラー原因の例	対応方法例
Total Connect フラットファイル	異なる形式のファイルがアップロードされている ・必須フィールドがない ・無効な日付形式	・取り込みたいファイルの場合はマッピングで定義した形式に合わせる ・関係のないファイルをアップロードした場合は正しいファイルを取り込み直す。必要に応じてデータやファイルを削除する
	タイムアウト	ファイル容量の制限や設計を確認
APIコネクタ API接続	一時的なプロバイダエラー	エラー発生期間のデータを再処理
	認証エラー	認証情報の更新

名前	ソース
<input type="checkbox"/> dummy_campaign	TotalConnect (Ads)
<input type="checkbox"/> dummy_campaign_budget	TotalConnect (Ads)
<input type="checkbox"/> Google Analytics	Google Analytics

▲データストリーム一覧画面の[ソース]列でどの接続方法が判別できる。APIの場合はプロバイダ名が表示される。

## 参考リンク

- ・[Total Connect データストリームのトラブルシューティング](#)
- ・[Marketing Cloud Intelligence の API データストリームのトラブルシューティング](#)

## データストリームのエラーをデータストリーム一覧画面から確認する

データストリーム (13)

検索.. 🔍 1個選択済み × | 編集 処理 History マッピング ピボットテーブルで表示 | その他のアクション 新規作成

ID	名前	ソース	親ストリーム	実行ステータス	最終実行日	最後のデー...	ステー...	前回の
<input checked="" type="checkbox"/> 5835151	Google Analytics	Google Analyti...		❗ 無効	Sep 8th 2022 0...	Jul 7th 2022	🔵	0
<input type="checkbox"/> 5848124	Load Mode Test	TotalConnect (...)		✅ 成功しました	Aug 25th 2022 ...	Feb 1st 2022	🔵	3
<input type="checkbox"/> 1544138	Weather	TotalConnect (...)		✅ 成功しました	Jan 25th 2019 ...	Aug 18th 2018	🔵	16

データストリームに割り振られる固有の番号。データストリームの再作成を行うと新しい番号が割り当てられる。

サポートへの問い合わせの際には再作成をしても変わらない定数識別子の使用を推奨

エラーが発生している場合は実行ステータスが「無効」「失敗」などの表示になる

## 参考リンク

・[詳細なエラーログの確認方法](#)

# トランスフォーマー処理の確認

トランスフォーマー ×

使用中のトランスフォーマー

- ファイル
- テーブル**
- ヘッダー
- 合計行

トランスフォーマーの追加

- 行列置換 +
- 行分割 +
- ピボット +
- PGP/GPG +

### テーブル

テーブルの開始地点

行

列

式の使用

編集

---

テーブルの終了地点

自動検出

テーブルから  行特定した場合

テーブルから  行の空行を特定した場合

式の使用

編集

ファイルトランスフォーマーは取得したファイルに複数シートが含まれていたり、パスワード保持されている場合にファイル変換を行う機能です。

下記のような事象が見られた際には設定を再確認します：

- パスワードを設定したファイルを処理できない
- 複数のシートが存在するスプレッドシートで意図したシートと異なるデータが含まれている
- 文字化けが発生している
- ヘッダの文字列がデータとして取り込まれてしまった
- 合計行がデータとして取り込まれてしまった

## 参考リンク

・[Marketing Cloud Intelligence のファイルトランスフォーマーの適用](#)



# マッピング処理の確認

マッピングの時点で検出されたエラーがある場合はマッピング画面でマッピング状況やフィールドに適用した構文を再確認します。取り込もうとしているファイルとマッピング結果をマッピング画面のプレビュー機能などを用いながら確認します。

### マッピング検証

2 件のマッピングの問題 (うち 1 件は重大) が見つかりました。続行する前に確認して修正してください。

- Date values are missing**  
One or more values failed to be parsed as dates.
- Field is not a date**  
The external field mapped to a Date type model dimension is not of type date and cannot be identified as a date.

[問題を表示](#)

## よくあるエラーや警告メッセージの例:

- 取り込めない日付形式となっている
- データモデルの構造と一致しないマッピングとなっており、データの集計の問題が発生する可能性がある
- 構文の書き方が間違っている

## 参考リンク

・[TotalConnect データストリームのトラブルシューティング](#)

# アドバンス設定の確認

取り込んだファイルやマッピングに問題が見当たらないにもかかわらず、集計結果に問題がある場合はアドバンス設定も確認してください。

The screenshot shows the 'Data Stream Configuration' page for 'A\_VideoAds'. The navigation bar includes 'ダッシュボード', '分析 & 活用', '接続 & 加工', and '製品'. The page title is 'データストリーム > データストリームの編集'. The main content area is titled '取込モード' (Ingestion Mode) and includes the instruction: '新規データがデータストリームに取り込まれる方法を定義します。' (Define how new data is ingested into the data stream). There are four options for ingestion mode: '置換' (Replace), 'アップサート' (Upsert), '増分' (Incremental), and '全置換' (Full Replace). Below this is the '取込ルール' (Ingestion Rule) section, which states '取込前にデータを除外するルールを適用' (Apply rules to exclude data before ingestion). A dropdown menu is set to 'キャンペーンAを除外' (Exclude Campaign A), and there is a '+ 新規追加' (Add New) button.

## 確認のポイント

- データのリフレッシュの自動化→取込対象ファイルの設定
- 取込ルール
- 親子
- 空の行の取り込み有無



# 取り込み後のデータの確認方法

ピボットテーブルの設定で確認に必要な項目を追加し、取り込んだファイル(スプレッドシートやエクセル)と比較します。取り込みにどの項目を使用したか不明な場合、ブラウザの別タブで該当 DSのマッピング画面を開いたり、データマッピングビジュアライザーをダウンロードして確認しながら進めてください。

no	day	dm	imp	click	CV	cost	Media Cost
1	2020/01/01	Twitter-242-TNHLC-Male-50-59	2320	349	2	9992	
2	2020/01/01	YDN-711-WRYTZ-Male-40-	2796	408	24	9968	
3	2020/01/01	Facebook-225-VZLML-Male-40-4	2427	182	14	9962	
4	2020/01/01	YDN-158-ZMFU-Male-20-29	2324	484	3	9967	
5	2020/01/01	GDN-70-XRMGN-Female-60-	1360	347	27	9966	
6	2020/01/01	Google search-633-PHGQR-Male	1693	384	16	9954	
7	2020/01/01	Facebook-406-HPLRV-Female-40	1341	418	48	9963	
8	2020/01/01	Twitter-242-TNHLC-Male-50-59	2359	148	26	9948	
9	2020/01/01	Facebook-542-DJPF-Male-20-29	1246	508	5	9943	
10	2020/01/01	Twitter-242-TNHLC-Male-50-59	2945	322	46	9889	
11	2020/01/01	Google search-633-PHGQR-Male	1720	408	13	9902	
12	2020/01/01	Facebook-225-VZLML-Male-40-4	2050	203	25	9896	
13	2020/01/01	Google search-719-CATCJ-Male	2226	64	29	9890	
14	2020/01/01	Twitter-847-ETYCF-Female-40-49	1216	115	27	9789	
15	2020/01/01	Yahoo search-983-OSWUJ-Female	1077	54	37	9838	
16	2020/01/02	YDN-706-BMNVL-Male-10-19	2753	317	44	9783	
17	2020/01/02	Instagram-601-EZULML-Male-20-2	1253	471	27	9780	
18	2020/01/02	YDN-711-WRYTZ-Male-60-	1287	245	31	9768	

## 確認のポイント

- 取り込んだデータが要件通りの粒度かを確認
- 既存のレポートがあれば、その数値と値が一致するか確認
- 取り込みデータの実績値は正しいか
- 想定した粒度の分析軸が揃っているか

月次のキャンペーン別金額を比較→差異があった場合は日次のキャンペーン別金額を比較、というように大きい粒度から確認していくと効率が良い

## 参考リンク

- [ピボットテーブルを作成する](#)

TIPS



## ピボットテーブル作成方法1 | 特定のデータストリームのデータだけで作成する

この方法では選択した データストリームのみのデータでフィルタされた状態 でピボットテーブルが作成できます。

1. データを確認するデータストリームを選択する
2. [ピボットテーブルで表示]をクリックする

The screenshot shows the Salesforce Datorama interface. The left sidebar contains navigation options like 'データストリーム', 'テンプレート', and 'マッピング'. The main content area is titled 'データストリーム (3)' and displays a table of data streams. A red box labeled '1' highlights the first row of the table, and another red box labeled '2' highlights the 'ピボットテーブルで表示' button in the top right of the table area.

ID	名前	ソース	親ストリーム	実行ステータス	最終実行日	最後のデータ日付	ステ...	前回の追加行数	次の実行日
<input checked="" type="checkbox"/> 2101713	sample data-media buy	TotalConnect (Ads)		成功しました	Sep 25th 2019 16:57:50		<input checked="" type="checkbox"/>	0	
<input type="checkbox"/> 2101707	sample data-campaign	TotalConnect (Ads)		成功しました	Sep 25th 2019 16:53:00	Jan 1st 2019	<input checked="" type="checkbox"/>	960	
<input type="checkbox"/> 2113384	sample data agency	TotalConnect (Ads)		成功しました	Oct 1st 2019 10:29:02	Jan 1st 2019	<input checked="" type="checkbox"/>	3	

TIPS



## ピボットテーブル作成方法2 | すべてのデータから絞り込む

この方法では ピボットテーブルをまっさらな状態から作成 し、表示項目やフィルタはユーザー自身で選択します。

1. [分析 & 活用] タブを選択
2. [ピボットテーブル] を選択
3. [新規作成] をクリックする

The screenshot shows the Salesforce interface with the following elements:

- Header:** TEST, ダッシュボード, 分析 & 活用 (highlighted with a red box and '1'), 接続 & 加工, 製品, Salesforce logo, datorama.
- Left Sidebar:** Einstein マーケティングガイ..., ゴール, アクティベーションセンター, レポート, **ピボットテーブル** (highlighted with a red box and '2'), クエリ API.
- Main Content:**
  - Header: **ピボットテーブル** (highlighted with a red box and '3') with a '+' icon.
  - Actions: 編集, 複製, 削除, ワークスペースにコピー.
  - Table:

ID	名前	作成者	作成日	最終更新者	最終更新日
223713	数値チェック用	Admin1	Oct 16 2019 19:01:24	Admin1	Oct 16 2019 19:03:00
113299	Demo_1	Admin2	Jul 23 2018 13:51:08	Admin2	Jul 23 2018 13:51:08

### 3.加工処理する前のファイルを確認する



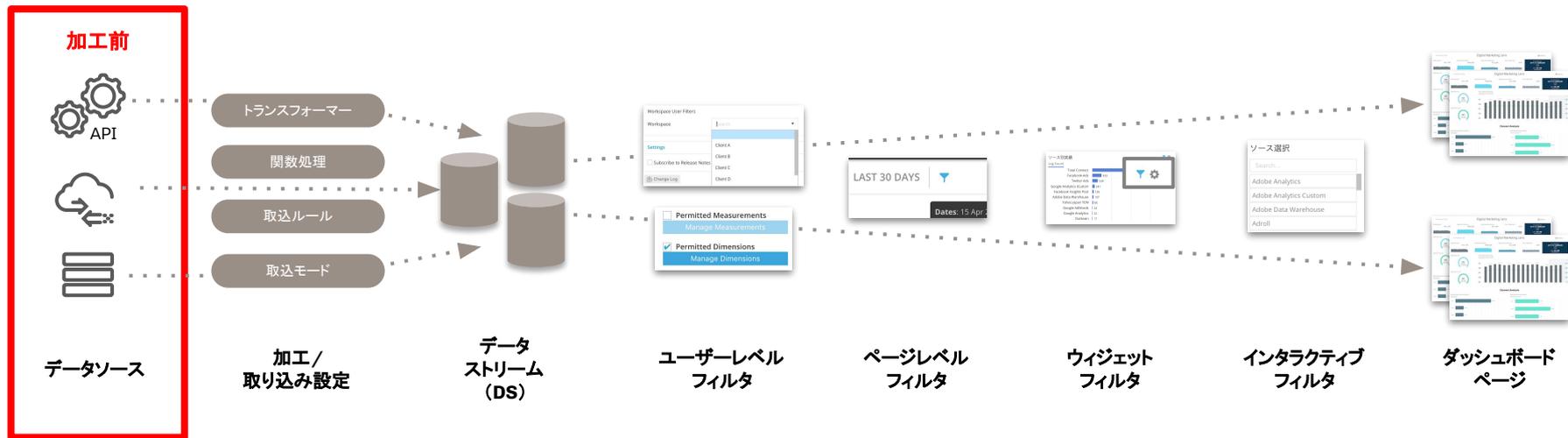
# 加工処理する前のファイルを確認する



マッピング処理前のデータに問題がありそうな場合はデータストリームに取り込まれた生データ（rawデータ）を確認します。

## こんな時に

- マッピングには問題がなさそうのため、トランスフォーマーや関数処理前のデータを確認したい
- データストリームでどのようなデータが取得されているか確認したい
- マッピング定義用に使用した初期ファイルと後から取り込んだデータを比較したい
- 媒体の管理画面データとAPIで取得できるデータの比較をしたい



# 生データ(rawデータ)を取得する



特定のデータストリームに取り込まれたファイルをデータ実行のジョブの単位でダウンロードできます。

The screenshot shows a table with columns: 統計 ID, データ..., データ終了..., 実行ステータス, and others. Two rows are visible, both with a status of '成功しました'. A dropdown menu is open over the 'ダウンロード' button, showing 'Original file' (highlighted with an orange box) and 'Transformed file'.

統計 ID	データ...	データ終了...	実行ステータス	タイプ
<input checked="" type="checkbox"/> 681397836	Sep 8th 2022	Sep 8th 2022	成功しました	API
<input type="checkbox"/> 680448456	Sep 7th 2022	Sep 7th 2022	成功しました	API

データストリームを選択 > [History] をクリック > 該当ジョブを選択 > [ダウンロード] > [Original File] をクリック

ダウンロードをしたファイルを開き、

- ・マッピング内容との差異の確認
- ・データストリームに取り込まれた他のファイルとの比較
- ・APIの場合: 媒体管理画面と APIコネクタ経由で取得されたデータの差異の比較

※プロバイダ起因/APIコネクタ/データストリームでの取得設定など原因はさまざま考えられるため、原因を特定できない場合はサポートへお問合せください。

# 参考 | 手動でデータストリームにデータを再取り込みする



データストリーム一覧画面でデータストリームを選択し、[処理]をクリックすることで手動でデータの取得 / 処理をすることができます。

## APIコネクタ

### データを処理

処理日付範囲: 📅 日付を選択...

処理できるのは過去 365 日間のデータのみです。それより古いデータを処理する場合は、サポート までお問い合わせください。

データストリームの処理が失敗した期間

キャンセル 処理

## トータルコネクタ

### ファイルのアップロード

データストリームにアップロードするファイルを選択

ドラッグ & ドロップ - または -

キャンセル 適用

### データを処理

📎 ファイルのアップロード

🔄 データを取得

キャンセル 処理

▲ [データのリフレッシュを自動化] が設定されていない場合はファイルのアップロードのみ(左図)、設定されている場合は処理方法として 2つの選択肢が表示される(右図)

# 参考 | 取得した生データを再処理する



データストリームの特定のジョブを手動で再処理することもできます。

- ファイルは取得済だが何かしらの理由で処理が失敗している際の再処理
- マッピングを変更し、過去に取得したデータに対して再処理を行いたい

Test DS (2)

検索..  | 1個選択済み × | 拡張ログ ダウンロード **再実行** 再処理から除外 | その他のアクション

<input type="checkbox"/>	統計... ↓	発生源	実行開...	実行ス...	理由	処理期間	ソース	ファイル	サイズ	追加さ...	処理さ...	データ...	データ...
<input type="checkbox"/>	179146589	UPLOAD	Apr 22nd 2...	成功し...		00:00:02	UPLOAD	158752266...	10.62 KB	4	4	Dec 1st 2019	Dec 1st 20
<input checked="" type="checkbox"/>	178770242	CREATE	Apr 20th 2...	成功し...		00:00:02	UPLOAD	158737463...	10.59 KB	4	4	Dec 1st 2019	Dec 1st 20

データストリームを選択> [History]をクリック> 該当ジョブを選択> [再実行]をクリック

## 参考リンク

・[データ取り込みの種類\(Re-run, Retrieve, Recreate\)の違い](#)

# 参考 | 取り込むファイルの注意点



表の開始行/開始列は変えない

日付の表記を混在させない

「日」のデータがないと期間のデータを日別で保持できず、ある特定の日付のデータとして保持する事になる  
例: 本日、本日起点の昨日

命名規則が定義と異なるデータを取り込むとデータが正しく分類できなくなる可能性がある  
例: 区切り文字の後に必ずクリエイティブ番号を記載

取り込み対象として設定したシート名から変えない

	B	C	D	E	F	G	H
1							
2							
3							
4							
5							
6	①実績						
7							
8	日付	キャンペーン	Imp	Click	Cost		
9	1月1日	A	100	1	100		
10	1月1日	B	100	2	100		
11	2019/1/1	C	100	3	100		
12	1月1日	D	100	4	100		
13	1月1日	E	100	5	100		
14							
15							
16	②デバイス別						
17							
18	デバイス	Imp	Click	Cost			
19	SP	300	6	300			
20	PC	200	9	200			
21							
22							
23	③クリエイティブ別						
24							
25	クリエイティブ	担当	Imp	Click	Cost	サイズ	
26	creative_01			3	300	100x200	
27	02クリエイティブ	A	500	2	100		
28	creative_03	B	100	1	200	250x300	
29	creative_04	C	100	0	100		
30							
31							
32							

1つのデータストリームでは1つのシートの1つの表しか取り込めない

列名を変更しない

例: 「Cost」を「消費金額」などに変更すると取り込めなくなる

セル結合されたデータは結合されたセルの一番上の行のデータとして扱われ、振り分けられない

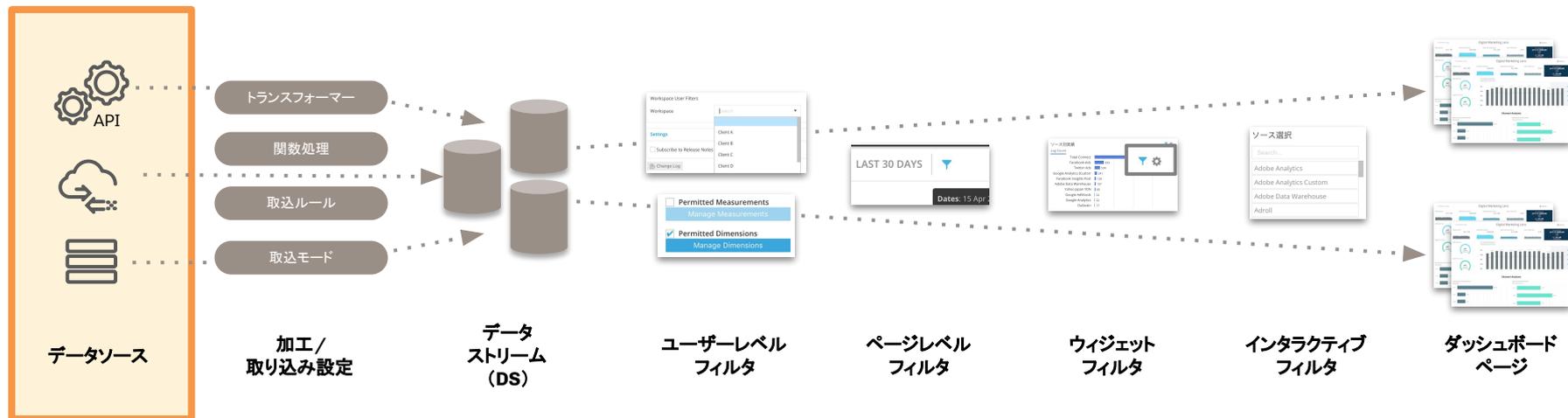
Excelファイルのパスワードはデータストリームで設定したものから変えない

## 参考 | 発生場所別の確認項目一覧



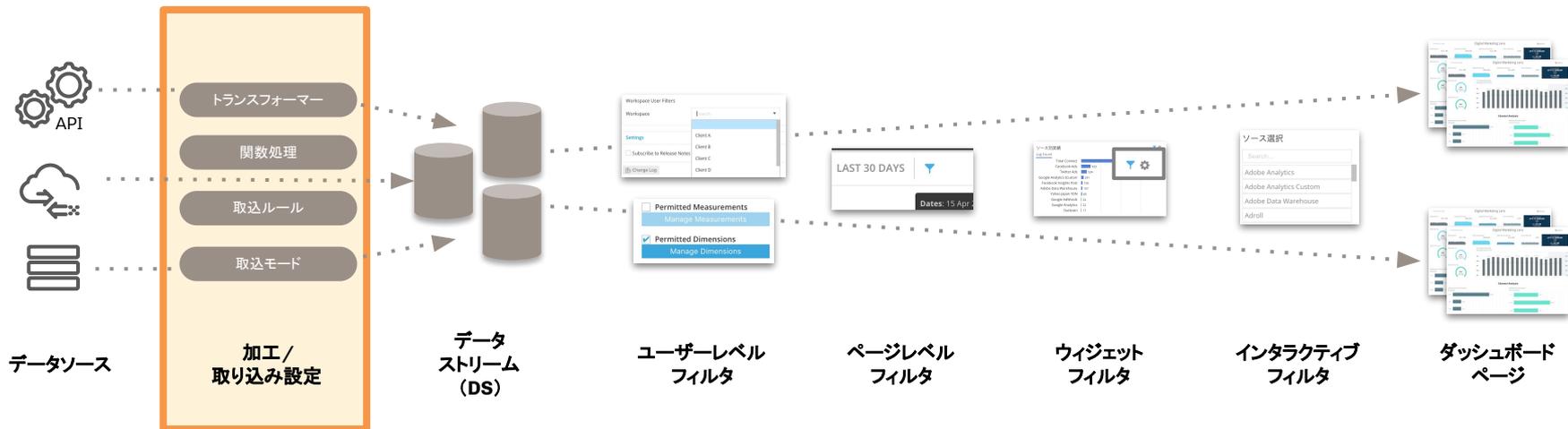
## データソース

- 元データに正しいデータが含まれているか？ 日付の取り込み方は正しいか？
- 非表示のシートが先頭にはないか？ファイルにパスワードがかかっていないか？
- メジャメントの集計方法、集計粒度の設定は適切か？



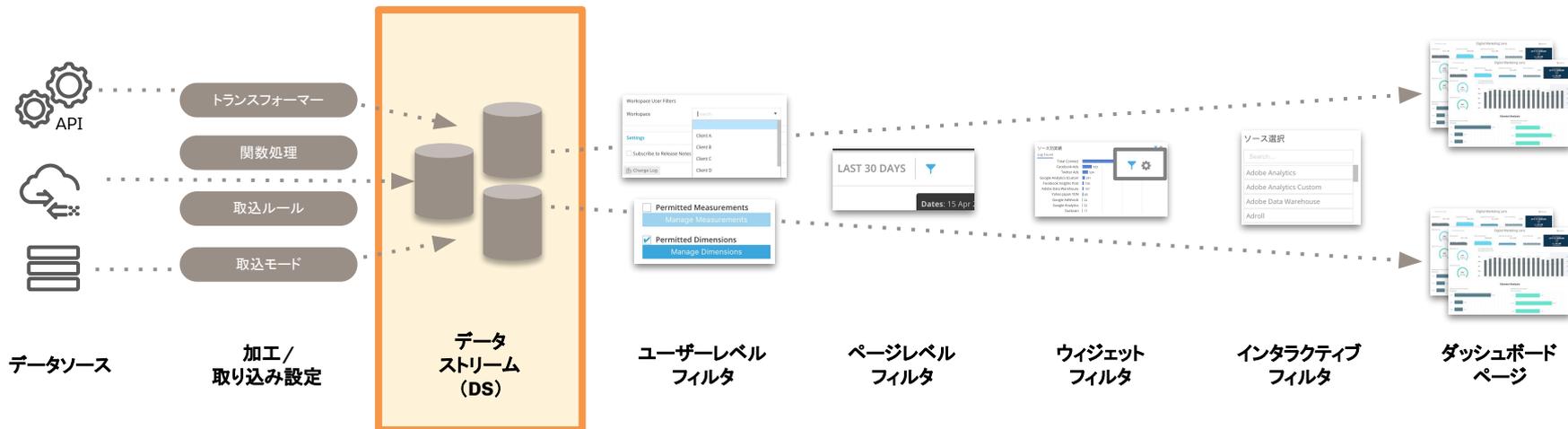
## データの加工 / 取り込み設定

- データロードモードは正しいか？
- 設定項目は正しいか？ ※データストリームテンプレートから作成した場合、引き継がれない項目がある
- トランスフォーマー設定は正しいか？



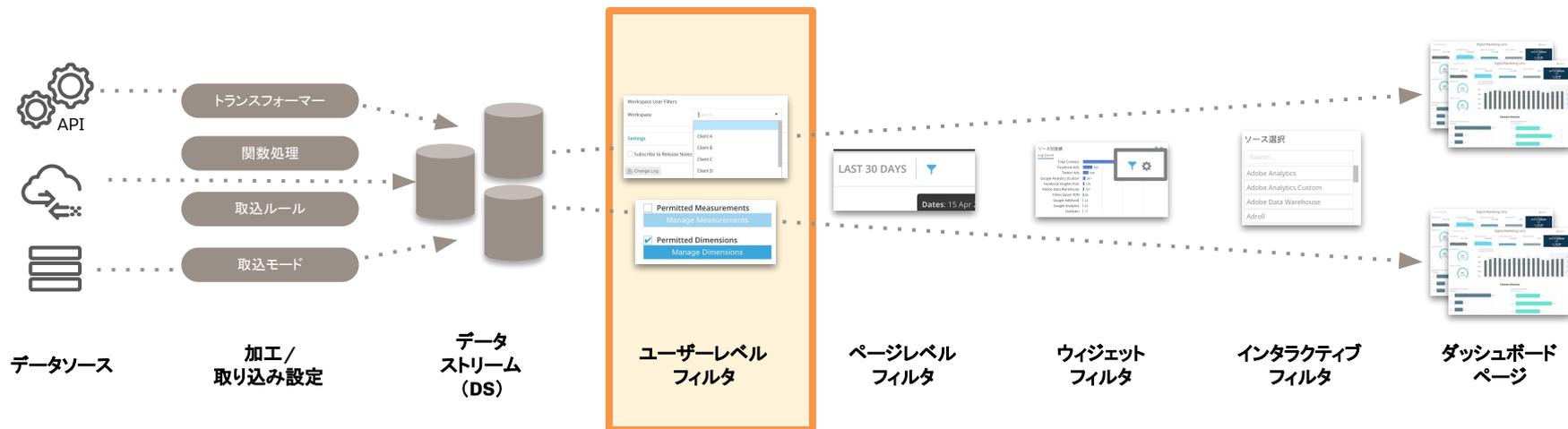
## データストリーム(マッピング)

- メインエンティティキーはマッピングされているか？
- 必要なディメンションとメジャーメントがマッピングされているか？
- キーの粒度は正しいか？各エンティティ間の関係はデータモデルの 1:N、N:Nの沿っているか？



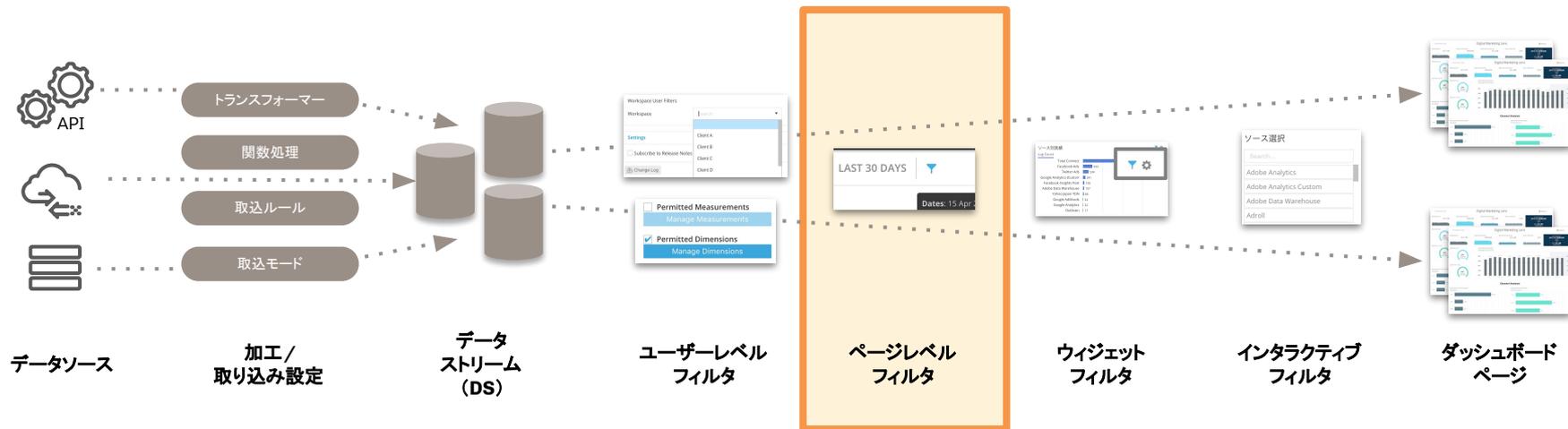
## ユーザーレベルフィルタ

- ユーザー/グループに正しいアカウント / ワークスペース / ダッシュボードのアクセス権があるか？
- ユーザー/グループに正しいディメンション / メジャーメントのアクセス権があるか？
- 不要なフィルターが設定されていないか？



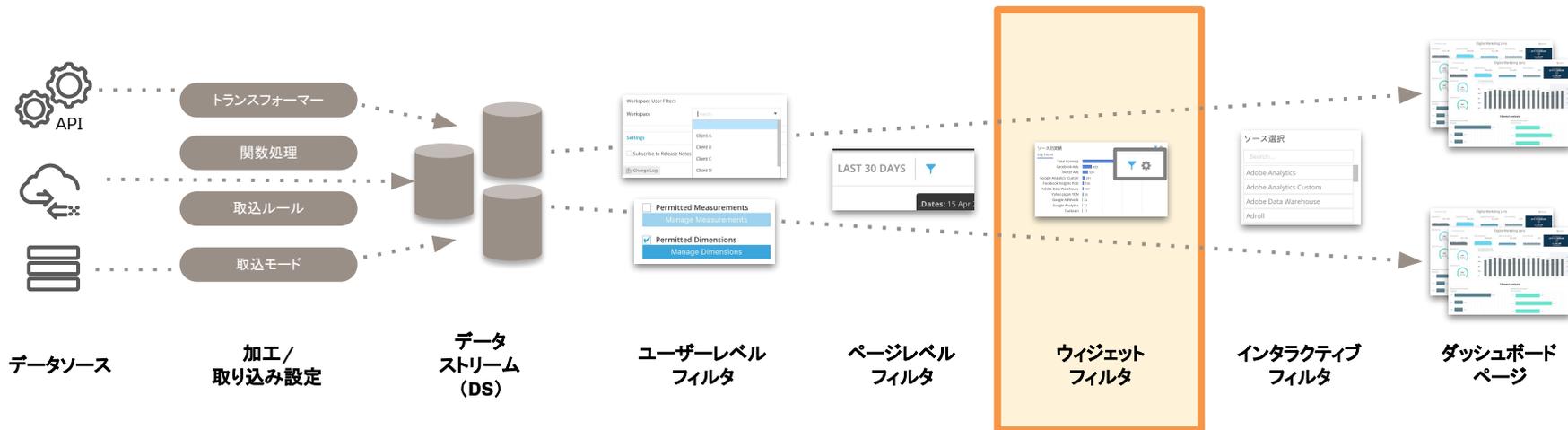
## ページレベルフィルタ

- データの表示対象期間は正しいか？
- ディメンション、メジャーメントのフィルタ設定は正しいか？
- 矛盾するフィルタが設定されていないか？



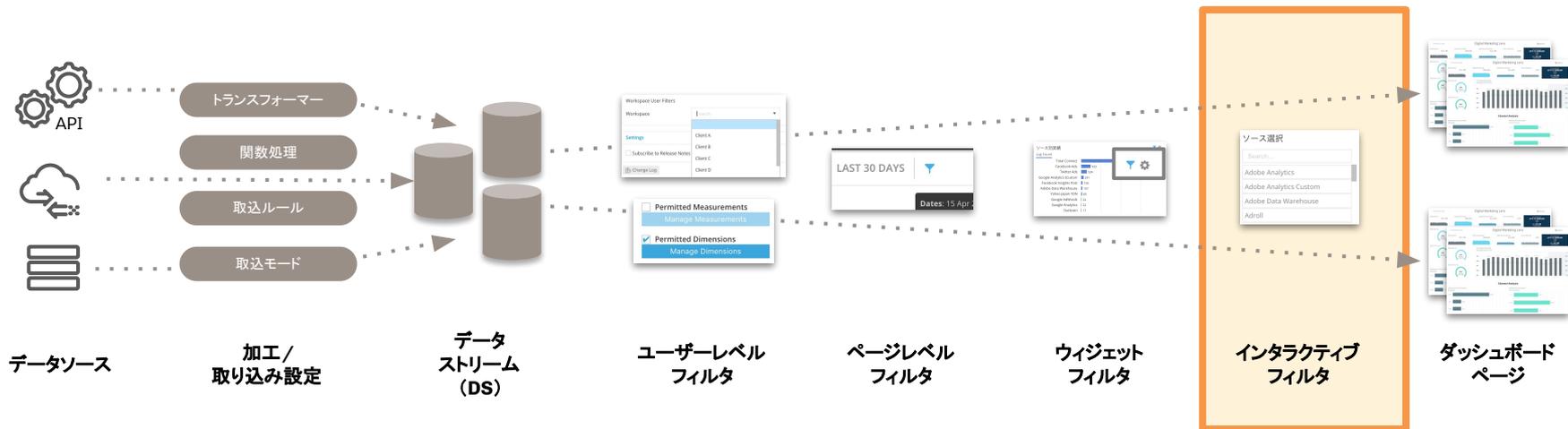
# ウィジェットレベルフィルタ

- データ表示期間は正しいか？ディメンション、メジャーメントのフィルタ設定は正しいか？
- 意図せずにページレベルフィルタと異なる設定がされていないか？ ※ウィジェットフィルタはページレベルフィルタよりも優先される
- 上位件数表示やソート順は正しいか？



## インタラクティブフィルタ

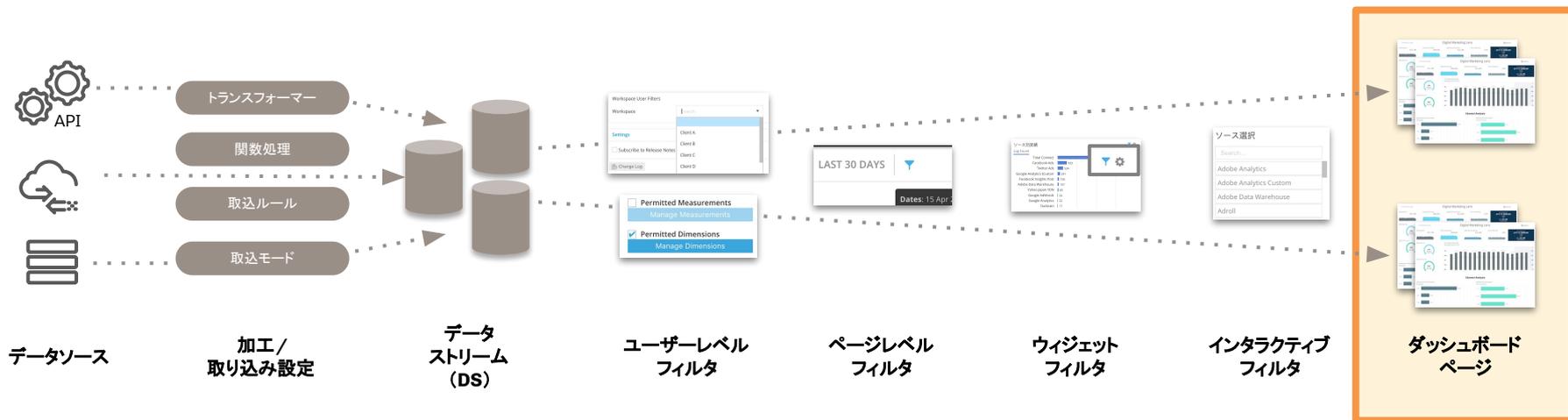
- デフォルト選択設定は正しいか？
- カスケーディング設定は正しいか？特定のウィジェットへの適用をしている場合、適用先の設定は正しいか？
- フィルタに使用しているディメンションは正しいか？
- [ユーザーの選択を保持]のオプションが意図せず有効化されていないか？





# ダッシュボードページ

- ダッシュボードページが非公開状態となっていないか？
- ダッシュボードページが非表示状態となっていないか？



## 参考 | トラブルシュート例



# トラブルシューティング例

ビューワーからダッシュボードページの数値乖離が指摘されたと想定し、トラブルシューティングの過程を追ってみましょう。



閲覧者

月別の数値がおかしい

まずはトラブルシューティングに必要な情報を集める

- ・どのダッシュボードページか (URL)
- ・どのウィジェットのどの箇所か (スクリーンショットを依頼)
- ・どの表示期間か
- ・どのデータと比較してどのような差異があるか (可能であれば比較している元データの提供を依頼)



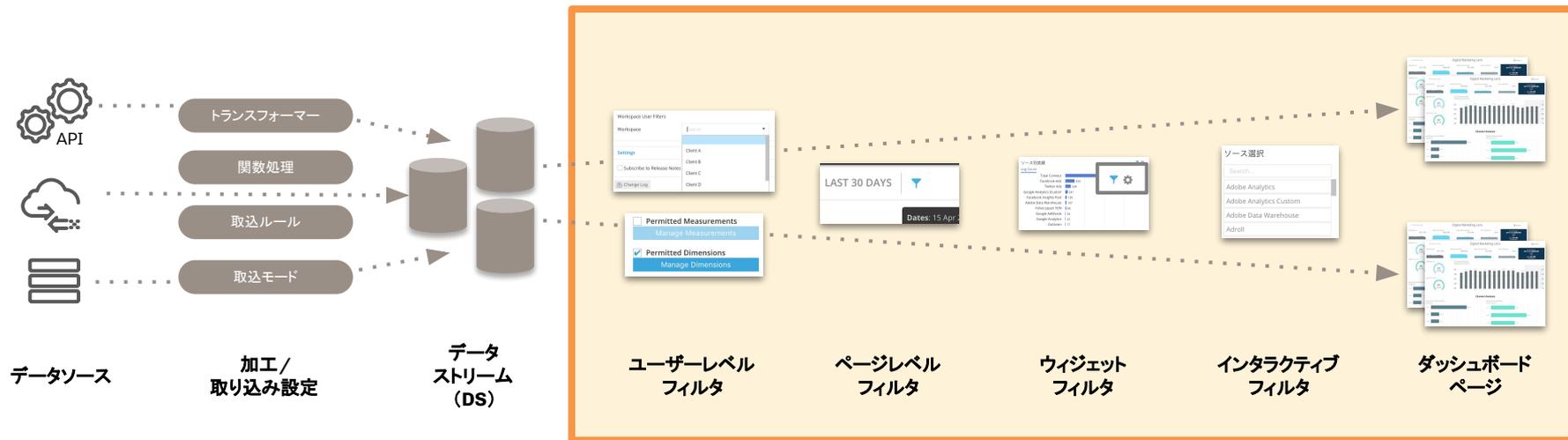
閲覧者

「動画広告ダッシュボード」の「月別インプレッション」ウィジェットの 5月～6月データが表示されない。  
表示期間は 2017/1/1～2017/12/31で、比較しているファイルは「A\_videoads\_2017\_1.xlsx」

調査開始



# STEP1 | ページ内設定の確認



ダッシュボードページ上で発見された数値乖離のため、まずは画面表示周りの設定を確認する



# STEP1 | ページ内設定の確認

- フィルタータブ: ウィジェットにはフィルタが適用されていない
- データタブ: 正しいディメンションとメジャーメントが設定されている

ページフィルタの範囲: 問題なし



ページやウィジェットの設定に問題がないため、データ取り込みに問題がないかの確認に移る



## STEP2 | データの確認

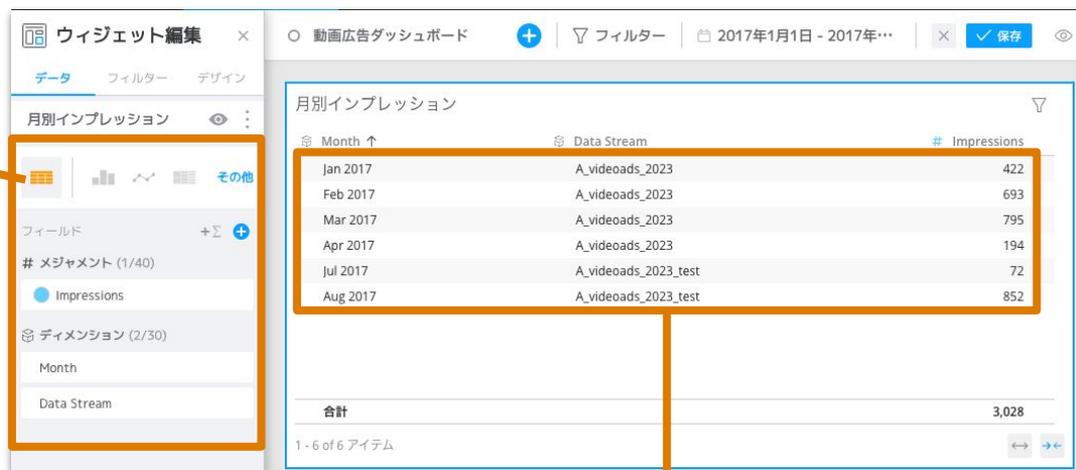
まずは該当のウィジェットのデータソースであるデータストリームを特定する。

棒グラフのウィジェットはディメンションが1つしか選択できないため、ウィジェットを複製してテーブルタイプに切り替えた上で調査対象に使用するフィールド(今回はData Stream、Month)をフィールドに追加する。

→ウィジェットを複製したトラブルシュートについては[こちらのページ](#)を確認

- ・2つのデータストリームのデータが表示対象となっている
- ・本来のデータ元であるA\_videoads\_2023のデータストリームに5月以降のデータが存在しないことが確認できた。

「test」とついているデータストリームはテスト目的で作成したもののため、表示対象としないようにページやウィジェットレベルでフィルタを適用するか、そもそも不要なデータストリームであれば削除する。



ウィジェット編集

データ フィルター デザイン

月別インプレッション

フィールド

- # メジャメント (1/40)
- Impressions
- ディメンション (2/30)
- Month
- Data Stream

月別インプレッション

Month	Data Stream	# Impressions
Jan 2017	A_videoads_2023	422
Feb 2017	A_videoads_2023	693
Mar 2017	A_videoads_2023	795
Apr 2017	A_videoads_2023	194
Jul 2017	A_videoads_2023_test	72
Aug 2017	A_videoads_2023_test	852
<b>合計</b>		<b>3,028</b>

1 - 6 of 6 アイテム

データが不足している期間とデータストリームが特定できたためデータストリームのトラブルシュートに移る



## STEP2 | データの確認

データストリーム一覧画面から該当のデータストリームの実行ステータスを確認する。ステータスに問題がない場合は取り込み処理自体にはエラーが発生していないため、データストリームのマッピングやトランスフォーマーなどの設定が原因と考えられる。

今回は実行ステータスが成功のため、ファイルの処理自体はできていることが確認できた。

### データストリーム (1)

<input type="checkbox"/> 名前	 ソース	親ストリーム	実行ステータス ↑	最終実行日	最後のデータ日付	ステータス	前回の追加行数	次の実行日
<input type="checkbox"/> A_videoads_2023	TotalConnect (Ads)		 成功しました	Oct 3rd 2023 17:28:...	Apr 11th 2017		94	

ファイルの取り込みエラーは発生していないため、  
取り込んだファイルが正しいか/取り込み処理設定に問題がないかの確認に移る



## STEP2 | データの確認

### データストリーム専用のピボットテーブルを作成する

先ほどページ上でテーブルを作成して確認済のため、データストリームの5~6月データが不足していることを確認済だが、トラブルシューティング用にピボットテーブルを作成する。

ページ上はフィルタ要素などが影響する可能性が高いため、データストリームの取り込み結果を直接確認するにはピボットテーブル機能を使用した方が良い。

データストリーム単体のトラブルシューティング目的だと分かるよう、ピボットテーブルにわかりやすくデータストリームの名前をつけて保存をする。  
→ピボットテーブルの作成に関しては[こちら](#)を参照

\*データストリームの新規作成後は必ずページへの反映前にピボットテーブルを作成することを推奨します。ピボットテーブルを保存しておくことで、トラブルシューティング時にすぐにデータストリームから取り込まれたデータを確認することができます。

Pivot Table Settings

Pivot Tables > Edit Pivot Table

A\_videoads\_2023

2017年1月1日 - 2017年12月31日

Show dates as: Period name

FIELDS

Rows

Month

Columns

Values

Impressions

Video Completions 25%

Video Fully Played

Video Completions 50%

Month	Impressions	Video Completions
Apr 2017	194	
Mar 2017	795	
Jan 2017	422	
Feb 2017	693	
合計	2,104	

1 - 4/4 アイテム

ページフィルタの影響を受けていない、データストリームに取り込まれたデータそのものを確認できる

ピボットテーブルでも5月以降のデータがないことが確認できたので引き続きデータストリームを調査する

## STEP2 | データの確認

### データストリームに取り込んだファイルを確認する

データストリームの実行履歴を開き、取り込んだファイルに問題がないかを確認する。

ファイル名で明らかに間違えたファイルの場合は正しいファイルをアップロードし、必要であれば間違えたファイルのデータを削除する。

今回はファイル名は正しいが、必要に応じて該当のジョブをクリックしてダウンロードを行う。

ファイル自体に問題がない場合、[処理された行][追加された行][データ開始日][データ終了日]の項目に問題がないか確認する。

A\_videoads\_2023 (1)

- ・アップロードしたファイルには2017/1～2017/7のデータが206行目までであるが、追加された行が94行となっている。
- ・取り込まれたデータの開始日は問題ないが、終了日が4/11までとなっている。

実行ス...	理由	処理期間	ソース	ファイル	サイズ	追加された行	処理された行	データ開始日	データ終了日
成功し...		00:00:06	UPLOAD	1696314522517_A_videoads_2017_1.xlsx	79.26 KB	94	94	Jan 8th 2017	Apr 11th 2017

途中の行までしか取り込まれていない原因を確認する





## STEP2 | データの確認

### データストリームに取り込んだファイルを確認する

生データを確認する。前ページで追加行が94行となっていたため、エクセルでも94行目付近に問題がないか確認する。

101行目に空白行が確認できた。

Intelligenceでは空白行の位置でテーブルが終了したと認識されたため7行～100行の94行分しか取り込まれなかったことが分かった。

#### 対応方法例:

- 元データで空白行が入らないようにする
- Intelligenceの設定を変更する

今回の例では今後も空白行が発生する前提で、BのIntelligence側の設定で空白行をテーブルの終了位置として認識しないように設定することとする。

5					
6	アカウント名	アカウントID	媒体名	媒体ID	キャンペーン名
96	Datorama	789	ビッグデータ	51432	2017_Q1_COMP
97	Datorama	789	ビーアイ・ライト	87611	2017_Q1_COMP
98	Datorama	789	ビー・アイ ネット	13223	2017_Q3_COMP
99	Datorama	789	ビー・アイ ネット	13223	2017_Q2_COMP
100	Datorama	789	ビーアイ・ライト	87611	2017_Q2_COMP
101					
102	Datorama	789	ビーアイ・ライト	87611	2017_Q1_COMP
103	Datorama	789	ビッグデータ	51432	2017_Q4_COMP
104	Datorama	789	ビーアイ・ライト	87611	2017_Q4_COMP
105	Datorama	789	ビッグデータ	51432	2017_Q1_COMP
106	Datorama	789	ビー・アイ ネット	13223	2017_Q3_COMP
107	Datorama	789	ビー・アイ ネット	13223	2017_Q1_COMP
108	Datorama	789	ビー・アイ ネット	13223	2017_Q3_COMP

原因に応じて対応を検討する



## STEP2 | データの確認

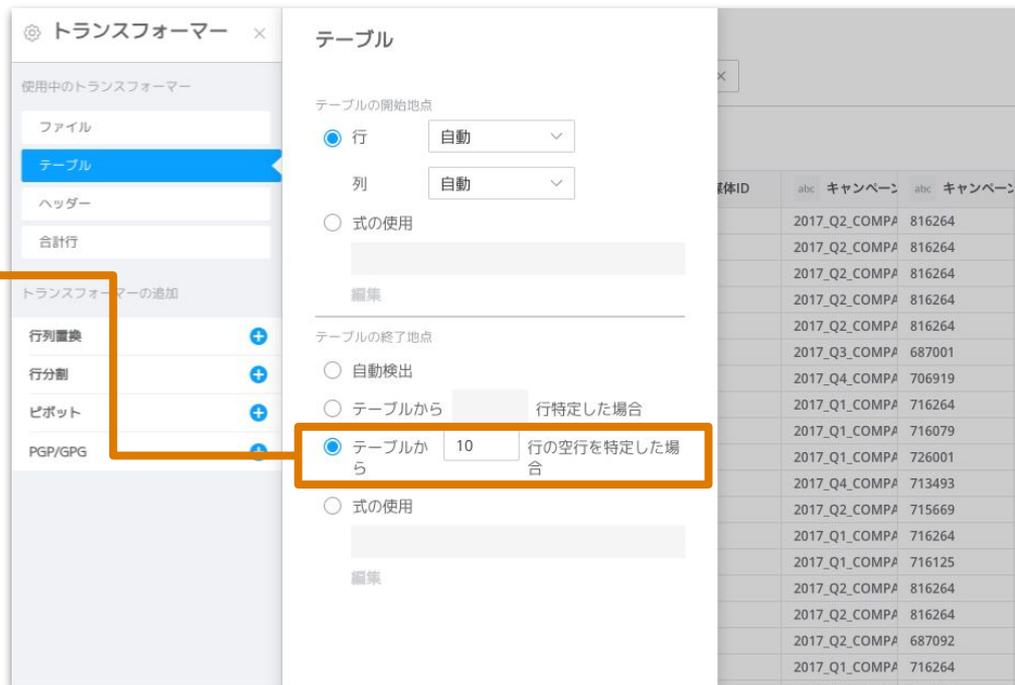
### 該当の設定を変更して反映する

データストリームのテーブルの終了地点の設定はトランスフォーマーから設定を行う。

設定の影響範囲を確認して問題がなければ変更を保存し、ファイルの再処理を行う。

\*トランスフォーマーの変更を行うと手動で行ったマッピング処理などが解除されるため、可能な限りデータストリーム作成時点でファイル構造を正確に把握した上で進めると良い

変更を反映し、既存データの再処理を実施したら、前のステップで作成したピボットテーブルで設定を変更した結果を確認する。



トランスフォーマー

使用中のトランスフォーマー

- ファイル
- テーブル
- ヘッダー
- 合計行

トランスフォーマーの追加

- 行列置換
- 行分割
- ピボット
- PGP/GPG

テーブル

テーブルの開始地点

- 行
- 式の使用

列

編集

テーブルの終了地点

- 自動検出
- テーブルから
- テーブルから
- 式の使用

行の空行を特定した場合

10

行の空行を特定した場合

行体ID	abc	キャンペーン	abc	キャンペーン
	2017_Q2_COMP	816264	2017_Q2_COMP	816264
	2017_Q2_COMP	816264	2017_Q2_COMP	816264
	2017_Q2_COMP	816264	2017_Q2_COMP	816264
	2017_Q2_COMP	816264	2017_Q2_COMP	816264
	2017_Q3_COMP	687001	2017_Q3_COMP	687001
	2017_Q4_COMP	706919	2017_Q4_COMP	706919
	2017_Q1_COMP	716264	2017_Q1_COMP	716264
	2017_Q1_COMP	716079	2017_Q1_COMP	716079
	2017_Q1_COMP	726001	2017_Q1_COMP	726001
	2017_Q4_COMP	713493	2017_Q4_COMP	713493
	2017_Q2_COMP	715669	2017_Q2_COMP	715669
	2017_Q1_COMP	716264	2017_Q1_COMP	716264
	2017_Q1_COMP	716125	2017_Q1_COMP	716125
	2017_Q2_COMP	816264	2017_Q2_COMP	816264
	2017_Q2_COMP	816264	2017_Q2_COMP	816264
	2017_Q2_COMP	687092	2017_Q2_COMP	687092
	2017_Q1_COMP	716264	2017_Q1_COMP	716264



# STEP3 | 修正対応と反映の確認

## 変更結果の確認

ピボットテーブルでデータストリームへのデータ取り込みが要件通りに実施されたことを確認するため、改めてアップロードしたファイルと比較を行う。

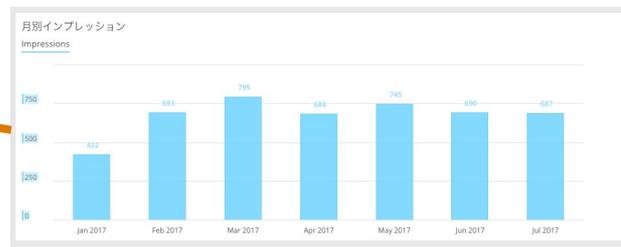
問題がなければダッシュボードページの確認に移る。

日付	合計/ インタクション数
2017年1月10日	2
2017年1月11日	7
2017年1月12日	14
2017年1月13日	41
2017年1月14日	3
2017年1月15日	10
2017年1月16日	3
2017年1月17日	1
2017年1月18日	16
2017年1月19日	50
2017年1月20日	21
2017年1月21日	5
2017年1月22日	9
2017年1月23日	35
2017年1月24日	10
2017年1月25日	35

Month	Impressions
Jan 2017	422
Feb 2017	693
Mar 2017	795
Apr 2017	684
May 2017	745
Jun 2017	690
Jul 2017	687

▲ 取り込んだファイルと Intelligence で  
ピボットテーブル項目を合わせて確認を行う

ダッシュボードページの該当ウィジェットでも5月以降のデータが反映されたほか、不要であった他のデータストリームのデータの除外も行った。



トラブルシュート完了



# Thank you

